

市議会だより

おおまち

168号

平成30年2月1日発行

12月定例会号



平成29年度一般会計補正予算(7号)可決
指定管理者2者可決
討論 核兵器禁止条約調印求める陳情に賛否

●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp



俵町の親子やぐらのどんど焼き
撮影者：北澤樹さん(俵町)

3億6555万8千円 増額

000万円 ②市民税1610万円がおもなもの

医療費の窓口無料化 中学校卒業まで実施 (平成30年8月～)

中学校卒業までのお子さんの医療費の窓口負担が軽減されます。医療機関での支払いは、自己負担500円のみとなります。



ふるさと納税寄付金 2億2000万円

当初1億2千万円の歳入予算であったものが、モンベルポイント・バウチャーの取り扱いの効果により8千万円増の補正予算で、収入見込額は2億円となった。(モンベルポイント・バウチャーは平成29年12月31日で終了)



モンベルポイントの引換券

就学援助費 小中学校入学前の支給へ (平成30年3月～) 140万2000円

要保護世帯、準要保護世帯に対し、ランドセルや制服などの学用品の購入のための就学援助費が、小中学校入学前に支給されます。





平成29年度 一般会計補正予算 (第7号)

①ふるさと納税寄付金 2億2

住民票・印鑑登録証明書等の コンビニ交付サービスが始まります！

マイナンバーを利用した、住民票や印鑑登録証明書等のコンビニエンスストアでの交付が1月15日から始まりました。まずは、マイナンバーカードの取得を！
詳細は市民課窓口へ。



市の発行する証明書を取得できるコンビニの端末機

2 施設指定管理者決定

信濃木崎夏期大学

指定管理者：公益財団法人 信濃通俗大学会
指定管理期間：平成30年4月1日～
平成35年3月31日 (5年間)



信濃木崎夏期大学

ぽかぽかランド

指定管理者：有限会社F&Mカンパニー
指定管理期間：平成30年4月1日～
平成33年3月31日 (3年間)
※3年間で745万2千円



ぽかぽかランド美麻

Pick up

議員が ただ 質した 12月定例会

ぽかぽかランドの運営は

Q 指定管理者の選定にあたり震災の影響を考慮し、非公募としたとあるが、減収補てん措置もされており、公平性を担保するために公募にするべきではなかったか。

A 非公募の理由については、5年間の業務期間のうち、3年以上、震災の影響を受け満足な営業ができなかった実態がある。審査会等においても充分議論をし、原則5年間の指定期間を3年間に短縮しており、地元企業の育成という観点からも配慮することとなった。

ふるさと応援団事業の 今後は

Q 返礼品について、総務省から3割以内の方針が出ている。また、金銭類似性の高いものについては、中止ということだが検討状況は。

A 金銭類似性の高いものについては12月末で中止の周知をしている。システムやカタログ等の関係もありカタログ更新時期の平成30年3月末を目途に調整中である。

国際芸術祭の報酬は

Q 北アルプス国際芸術祭の業務に従事した、地域おこし協力隊の報酬の支出根拠は。

A 地域おこし協力隊は、地方自治法上、非常勤の特別職に位置付けられており、同法203条の2の規定により、報酬を支弁している。

Q 国際芸術祭に係る業務は、実行委員会で行っており、広域連合等への職員派遣と同様に条例に基づき派遣し、その上で実行委員会において措置するべきではないか。

A 本事業は、平成28年4月から、まちづくり交流課の国際芸術祭推進担当で所管することと組織規則で位置付けており、そこに属する職員であるので問題は無い。

大町病院企業債の償還 期限10年延長

Q 先送りして将来ヘツケを回すことが本当にいいのか。

A 現在は起債の償還を一時

借入金で賄わなければならない状況である。この一時借入金は長期の借入れよりも利率が高い。今回償還期限を10年延長し借換えることで、むしろトータルとしては一時借入を続けるよりも若干プラスになる。



住民票等のコンビニ交付 サービスについて

Q コンビニで証明書等の発行を行なった場合、コンビニの端末器に利用者のデータが残ってしまうことはないか。

A コンビニ交付サービス専用のネットワークを使用し、通信内容の暗号化を行う。端末器にデータを残さないことで個人情報漏えいを防止できると聞いている。

一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、大門市議会では、各会派の代表が行う代表質問を12月定例会で行っています。



ワイン特区の進捗と
芸術祭の検証を問う

政友クラブ 小林 治男こばやし はるおが問う

特区の進捗と 芸術祭の総括は

Q ワイン特区構想の狙いや進捗状況について聞きたい。

A 当市のワイン製造は、現在、大町で生産されたぶどうを使用した、委託製造や自社醸造により、大町産のワインとして販売されている。当市の気候がワインぶどうに適しており、果実酒への取り組みが盛んになってきている。こうした中、市内でワインぶどうを生産されている農業者や農家民宿の経営者を中心に、市においてワイン特区及びハウスワイン特区取得の要

望が出されている。近隣の池田町や安曇野市、北アルプス地域振興局などと検討を進め、生産果実の活用や情報発信などで広域的に連携することが効果的と判断し、30年1月に3市村による広域での特区申請を指して、現在調整を進めている。現在、検討している特例措置の内容は、特定酒類最低製造数量6kℓの緩和で、特区申請にあたり地域の農産物を原料として、自己の製造場において、果実酒やリキュールを製造する場合、数量制限をそれぞれ、2kℓと1kℓに引き下げて免許を取得できる。また、特定農業者による事業では、農家民泊を含む農業者の生産した果実を原料とした果実酒を製造し、自己の民宿やレストランで提供する場合、数量制限の適用を受けずに免許を取得できる。この特区の取得により、市内の小規模なワイン製造業者も酒類製造免許を受けることが可能となり、新たな地域ブランドの創出や観光客への新たな魅力提供につながるものと期待する。

北アルプス国際芸術祭について

Q 次期開催するとした場合、3年ごとのトリエンナーレ①か、2年ごとのビエンナーレ②か、市長の考えは。

A 芸術祭の開催には相当の準備を要するという点を考慮すると、やはり一定の期間が必要と考える。中間年の活動を通じ市民の理解を含め、機運の醸成を図ることにより、参加と協力体制とともに、市内外からのボランティアサポーターとの様々な連携を図ることが円滑な運営につながるものと考ええる。また、評価・分析で明らかになった来場者の受け入れ態勢の充実を図るためには、幅広い関係機関との調整を含め、余裕を持った準備期間が必要であり、さらに確実な調達を期する面からも、3年毎に開催するトリエンナーレが望ましいと考えている。いずれにしても、芸術祭の次期開催は、これまでの評価・分析の内容を踏まえるとともに、本定例会での意見提言を判断材料として、的確に判断していく。



芸術祭の評価は

? 用語解説

- ①トリエンナーレ 3年に1度開催される美術展覧会のこと。
- ②ビエンナーレ 2年に1度開催される美術展覧会のこと。

一般質問

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。

行政の責任で公費負担を
行い保険税の負担軽減を



日本共産党 平林 英市が問う

国保税の負担軽減へ公費投入を

Q 国の補助を大きく減らしたため被保険者の負担が増大した。他の健康保険などと比べ、重い負担を認識しているか。

A それぞれの保険により制度が異なっているため、一概に重い軽いという比較はできないと考えている。

Q 保険者が市から県へ移る広域化により、保険税の改定で標準的水準の被保険者の保険税は引き上げになるのか。

A 現在の保険税を上回る状況。所得250万円の40代夫婦と子供2人世帯の場合、年額44万円、約30000円の上昇となっている。

障がいの有無に関わらず
誰もが住みよい環境づくりを



公明党 太田 昭司が問う

誰もが住みよい福祉の大町へ

Q 内臓に障がいがある人や耳の聞こえない人など見た目では障がいがあると分からない人が身につける「ヘルプマーク」を大町市も導入してはどうか。

A 長野県市長会においてヘルプマークの導入を県に要望している。県での導入が望ましいと考える。大北圏域の各自治体にも導入を提案していく。

Q 障がいを持つ子どもの家族が病气等で子どもを面倒を見ることができない時に子どもを預かってくれる「医療型短期入所」を大町病院でも始めてはどうか。

神奈川県座間市の事件でも
SNS等が使用された



政友クラブ 岡 秀子が問う

SNSの安全利用への啓発

Q 全国学力・学習状況調査の中で、携帯電話やスマートフォン所持は小学校で5割、中学校で約8割。SNS^④の無料アプリ「ツイッター」「LINE」等がきっかけで、犯罪に巻き込まれる子どもは今年の上半期だけで919人で増加傾向である。本人及び保護者を含め、使い方のルールやマナーの具体的な啓発が必要では。

A 本年度、情報教育推進委員会を立ち上げ、インターネットに関する調査の結果分析を進めている。結果がまとまり次第、効果的な対策を講じる。保護者と子どもとのインターネット利用の誓約の確実

? 用語解説

- ③レスパイト入院 在宅で障がい者や高齢者の介護をする家族が、冠婚葬祭への出席、また精神的・肉体的な休養等ができるよう、病院が一時的に障がい者・高齢者を医療保険で入院を受け入れること。
- ④SNS (エスエヌエス) ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人のつながりを促すインターネット上のサービス。(ツイッター、フェイスブック、ラインなど)

Q 保険税を抑えるため、法定外繰り入れ(公費投入)をして、負担軽減を図るべきだ。

A 保険税の軽減を目的とした一般会計からの法定外繰り入れは、現段階では検討していない。

悪臭対策の指導強化を

Q 常盤清水のあづみ野エコファームの悪臭が基準値を上回り、住民は環境汚染に苦しんでいる。改善計画を求め、行政指導すべきだ。市の見解はどうか。

A 地元との覚書を履行し、臭気対策も実施しているので、改善勧告はしていないが、改善に向けて強く指導していく。



定期測定で市の臭気指数規制値を超えて悪臭を発生し、改善が求められる豚舎(清水地区)

A 大町病院ではレスパイト入院^③を実施している。かかりつけの医師から大町病院に紹介があれば受け入れることができる。医療型短期入所については地域の需要を判断する中で検討したい。

Q 未就学児・小中学生・高校生までの一貫した子育て支援サービスを提供する総合窓口の創設を考えてはどうか。

A 既に子ども子育て相談窓口として家庭児童相談員2名を配置して女性相談員や教育委員会の指導主事等と連携し相談に対応しているが、一層の関係各課の連携に努めたい。安心して相談できる窓口の充実強化について更に検討したい。

その他の質問

北アルプス国際芸術祭の評価について



内部障がい・妊娠等で、援助や配慮を必要とすることを周囲に知らせる「ヘルプマーク」

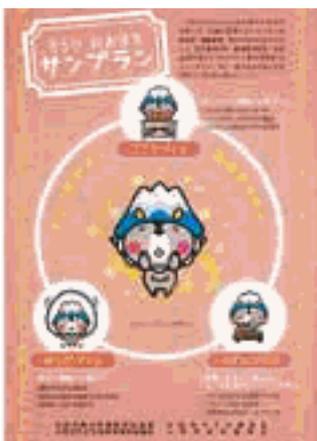
な履行や、フィルタリングサービス^⑤の活用も指導していく。

Q SNSを利用した、いじめ相談を受け付ける仕組みづくりへの考えは。

A 県教育委員会と保健福祉部、県民文化部が「いじめ・自殺相談」を開設している。利用の動向を注視しながら検討したい。

Q 不登校の実態と対応は。

A 昨年度小学校7名、中学校29名、今年度上半期で24名増加。原因は、家庭状況や人間関係、精神的な悩み、怠学傾向等様々である。原因に応じて、スクールカウンセラー^⑥やソーシャルワーカー^⑦、子育てや保健・福祉部門と連携し、対応と指導に努めている。



子どもたちはSNSで悩みや本音を打ち明け、複数のアカウントを使用している実態

? 用語解説

- ⑤** フィルタリングサービス 子どもが安全かつ安心してインターネットを利用できるよう、有害サイト等につながらないようにブロックするサービス。
- ⑥** スクールカウンセラー 小・中・高・大学などの教育機関で、心理相談などの業務に従事する専門職。
- ⑦** ソーシャルワーカー 病気や障害また経済的問題などで生活に困難を抱える人やその家族に対し、日常の不安や困りごとを解決するための支援を行う専門職。

一般質問

質問する議員1人の持ち時間は20分以内と決められており、行政側の答弁を含めると、およそ50分程度となります。



事業収支は人件費をいれると1億円を越える赤字に

虹と緑の会 大和 幸久が問う

芸術祭・経済効果に疑問

あづみの公園入場者を水増し

Q 芸術祭来場者数にあづみの公園入場者19,676人をカウントしている。しかし、芸術祭パスポートで入場した2,403人以外はあづみの公園の入場者であり、16,976人分は水増しだ。経済効果の基礎数字54,395人は68.2%、37,122人となる。これに伴い、大町の観光消費額は4.7億円ではなく3.2億円になる。長野経済研究所に報告書の見直しを求めるべきだが実行するか。



旧北高跡地利用は大町市活性化の最後のチャンス

神社 正幸が問う

旧北高跡地利用の議論の開始を

Q 広大な旧北高跡地の利用は大町市発展、市街地活性化の最後のチャンスと考える。県は地元の意向確認は最重要課題と言っている。充分時間をかけ、市民全体の合意形成が必要である。市の見解と跡地利用への合意形成の進め方についての考えは。

A 30年度まで岳陽高校の体育施設として利用。未使用部分は県として利活用を検討し、活用策が無い時は地元意向を打診すると聞くが未だ示されていない。県の方針が明らかになった段階で、払い下げや条件等を見極め、市として検討したい。



イベントごとに検証が大切、もう一度検討して判断すべき

虹と緑の会 栗林 学が問う

国際芸術祭の検証はしっかり

Q 市が委託した、長野経済研究所の経済波及効果分析調査の宿泊事業者が7割が増加とあり、商工会議所の会員事業所アンケート結果報告では4割が増加とある。また、入込客数は芸術祭開催期間中の国営公園入場者数をカウントしているが、市として数値の検証は行わないのか。

A 調査項目により各種のアンケート調査値は違ってくる。調査機関は長年の実績があり、信頼性が高い。経済研究所の結果は総体を評価しており統計学上信頼性があり、市は検証を行わない。

A 公園入園者を実数値として入れていく。研究所の考え方を確認する。

宿泊客18440人増は正しいか

Q 長野経済研究所は芸術祭で宿泊客が18、440人増加したと報告したが、入湯税から見た宿泊客は、過去4年間の平均宿泊客数より2、174人少なく、実態とあっていない。研究所は、3億4千万円の消費額があったとするが重大な疑義が生じている。まず、根拠とする601件のアンケート調査表と報告書作成の経過を公表し、市民の検証に付し、見直しを求めらるべきだ。

A 大町市はアンケートを保管していない。内容に疑義があるかどうか調査する。



あづみの公園入場者19,676人を芸術祭入場者としてカウントしている

Q 市民には旧北高跡地利用のアイデアは多くあるはずで、それらをまとめることは大変な作業だ。内外の人脈を生かしオール大町で挑戦すべきだが、市長にその先頭でトップセールスを期待する。覚悟は。

A 地域の特性を生かせる産業振興を重点に、市発展に良い結果を得るため自ら先頭に立つて行動する覚悟である。

北アルプス連携自立圏事業について

Q 大町市を核に5市町村で始まった連携自立圏事業の進捗状況は。

A 2年目の事業は、移住交流、福祉、観光、保健、図書館事業など8分野17事業で取り組んでいる。専門分野ごと議論して効率的な展開を図りたい。



旧北高跡地の活用を、市民中心のテーブルで余裕を持って議論を始めるべきだ

Q 芸術祭開催中に他にもイベントがあった、プロデューサーがいればもっと相乗効果につながられたと考えるが。

A 基本計画、実施計画はディレクターの助言もあり計画通りで問題ない。

Q 大地の芸術祭では売り上げの減少やサポーターの確保など、課題が出ている。この事業に終了の選択肢はあるのか。

A 実行委員会の部会ではまだ考えていない。

Q 他市では市民満足度調査を行っているところもある。市では芸術祭の意識調査を行わないのか、また、寄付者や協賛者への報告は考えているか。

A 市民意識調査を5年ごとに行っている。必要があればそこで芸術祭について調査する。また、実績報告書を出す。



国営公園の入場者を芸術祭参加者としてカウントしているのか

一般質問

質問しようとする議員は、「何について、どんな問題意識で」質問するのかを予め通告しています。これは、行政側から噛みあった答弁(公式の見解)を得るためです。

芸術祭の経験をまちづくりに活かさなければ……



市民クラブ
大 概 おおまや とみよし
富義が問う

市の計画は 絵に描いた餅か

総合戦略の成果と課題は

Q 市は、消滅都市にならないため2年前に、しごとづくり・人の流れ・子育て等に焦点を絞り「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、その成果と今後の課題は。

A 雇用の場の確保では、新規企業の立地は難しい環境だ。移住・定住促進事業では、制度の拡充を図るなどにより人口減少に一定の抑制が図られた。

地域おこし協力隊の活用は

現代アートの作品に支払われたお金は一体いくらか



高橋 たかはし ただし
正が問う

芸術祭の会計が 不明瞭である

Q 芸術祭について今後の課題はなにか。市内で昼食をとった人数は何人か。

A 課題は広報の工夫、サポーターの育成と連携、宿泊や飲食、二次交通、土産品の品ぞろえ、会期や開場時間、アトリアの適切な設定、作品数などである。期間中來場者で昼食をとった人数は把握できない。

Q 製作費の多寡は、直接作品の良しあしに反映される。総合プロデューサー北川フラム氏に渡されたお金でそれぞれの作品にいくら使われたのか、不明瞭である。いかなる理由をもってしても許される

大町の25か所のため池についてその安全性を問う



堀 ほり けんいち
堅一が問う

ため池の強度は 大丈夫なのか

Q 居谷里のため池について、地震や豪雨により決壊することはないのであるのか。

A 溜めてある水の量は10トンダンプカーに換算して5000台にもなる。甚大な被害を想定するべきではないか。

また、ため池は、そもそも震度5弱までしか耐震強度が出せないとされているが1号から3号までの耐震強度はどうか。

A 居谷里は平成28年に耐震性点検をした。施設の健全性が損なわれないとする安全率1・2に対して1号ため池は0・9、第2号ため池は1・0だった。既定の安全率を下回った。平成31年度の県営事業

Q 地域おこし協力隊は全国では約4000人いる。市には5人しかいない。小谷村では隊員が12名、集落支援員は5名おり、これまでの実績では隊員の65%以上が移住している。市は地域おこしに向け隊員の活用をどう考えているか。

A 地域おこし協力隊員を募集しても集まらないことがある。現在は地域振興支援員2名を募集している。

北アルプス国際芸術祭とまちづくりは

Q 芸術祭で得た経験をこれからのまちづくりはどう活かしていくのか。

A 芸術祭の実施により、実績や課題が見えた。さまざまな機会を通じて、関係団体や自治会等と意見を交わすなど、オール大町でまちづくりを進めていく。



市は、2年前に消滅都市とならないための戦略を策定した。具体的な実行を望む

るものではないと思うがどうか。

A 作品の価格はお答えできない。

過疎化の周辺地域をどうするか

Q 市の周辺地域において人口減少と高齢化が進行している。集落の維持継続や交通弱者対策など、課題をどうするか。

A 現在地域支えあい体制づくり協議会を組織して、協議や調整、課題の洗い出しを進めている。交通弱者買い物支援では、福祉輸送サービスや買い物送迎サービス、他の事業者が実施する移動手段や生協、コンビニなど、多角的な検討を進めている。



税金が投入された制作費の明細が示されないのは、今後継続するにしても問題である



で耐震対策工事を予定している。

Q 他に被害想定されるため池はどこか。

A 危険度調査により、地震による危険度が高いとされた大沢寺、大原、居谷里2号3号のため池は耐震性点検が必要とされた。これが決壊したときは、大沢寺ため池が150畝、大原ため池が85畝、居谷里が35畝の浸水が想定される。また当該地区の指定緊急避難場所は、ため池決壊時には使用ができないので、該当する地区に住んでいる皆さんに、あらかじめ浸水区域をマップに示すことが大変重要と考える。また、ため池の決壊の恐れがあるときは住民への速やかな情報伝達を心掛ける。



居谷里ため池の耐震性不足が判明した。平成31年耐震化工事予定

まちなか再生に既存法律
適用除外の特区は出来ないか



政友クラブ 二條 孝夫が問う

市街地の歴史的 資源を生かせ

Q 旧塩の道博物館現ちようじやが関係者の努力の下、市内で初めて国有形文化財に指定された。その施設を拠点として、まちなか再生にどう結びつけていくか。

A まちなかには町家形式の建物、造り酒屋、土蔵など歴史的建築がある。点在した歴史建造物を掘り起こし、中心市街地活性化計画に基づき市内関係団体と連携してまちづくりを進める。また県の信州まちなかりノベーション事業を活用し空き家と起業家のマッチングを図っていききたい。

Q まちなか再生には建築基準法など規制があるが除外出来る特区申請は。

コミュニティスクールの
更なる説明と周知が継続の鍵



政友クラブ 降旗 達也が問う

CSの現状と 課題はなにか

Q 本年度、市内全小中学校で「コミュニティスクール」がスタートしたが、見えてきた「問題点」「課題」は何か。

A 制度全体の理解や支援ボランティアへの参加が不十分であるが、制度の導入により、開かれた学校に向かっている。

Q 保護者の方と話をする中で、「コミュニティスクール自体の理解がされていないと感じるが、周知や説明不足では。

A 今までの学校のあり方からすると、大きな変化であり、様々な機会をとらえ、目的や制度の内容について、保護者をはじめ住民に周知をしていく。

議員力をつける

市議会研修会を開く

大町市議会は、12月27日「一般質問の質問力を高めるために」と題して、龍谷大学政策学部教授 土山希美枝氏を招いて議員研修を開きました。



土山教授を囲んでの質疑応答

A 新たな条例制定や建築基準法適用除外などの特区構想も検討していく。

教育のまちづくりをせよ

Q 中小学校の統廃合について議論を起すべきではないか。

A 各学校のコミュニティスクールを横断的に結んだ「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」を設置、地域の人たち、保護者、学校関係者の人たちとともに慎重に検討していく。

Q 大町は教育環境日本一、地域の頭脳都市としてまちづくり再生を図れ。

A 関係部所と連携しながら頭脳都市と成るべくまちづくりを進めていく。



市内の至る所にある歴史的建造物や全国でも珍しい建物の下に流れる町川。「大町の誇りだ」

Q 学校支援ボランティアや学校運営委員会の活動に対して、予算措置は。

A 個々の活動に要する経費としては、「特色ある学校づくり補助金」として

学校に配分している予算や、学校の備品・消耗品費等を活用している。

Q 何かやろうと思っても、学校の予算というところで使いにくいと思われる

が、別で予算を計上することはできないか。

A 学校では運営そのものについて予算が足りないとの要望は聞いていないが、今後、使いやすい予算を検討していく。

その他の質問

「選挙における投票率向上について」・「当市の冬の観光について」の質問をした。



コミュニティスクールの環境整備ボランティア作業(西小学校落ち葉清掃)

いい「一般質問」とは

監査機能、政策提案機能を果たしているか

- ▼何が問題か明確か
- ▼問題に必要な情報が入っているか
- ▼政策提案が具体的か わがまちの状況を反映しているか
- ▼聞いて分かりやすいか

一般質問の論議を通じて「納得」にたどりつく

- ▼その問題を問題として「共有」し、「納得」にたどりつく「論議と対話」となっているか

などのことが、提起されました。今後の議員力アップに向けていかしていきます。



市の部課長も参加しての土山教授による講演



討論沸騰!!

★point★

討論は、「反対」か「賛成」かの議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員を自分の意見に賛同を求めるために行われます。
なぜ可決なのか、なぜ否決なのか・・・。議会の選択（議決）理由の一つとしてご覧ください。（要約してお伝えしています）

賛成

核兵器を違法とする核兵器禁止条約が国連で採択された。日本政府の批准と北朝鮮の核放棄のためにも意見書の提出を。 平林
日本政府の考え方を変えるためにもこの陳情書の通り、国に対して地方から意見を言うことは当たり前のことだ。 中牧
もし核戦争になれば、核の傘で日本を守り切ることができない。関係国はすべて破滅する。 高橋
最強の大量破壊兵器の核兵器は人類と共存は有り得ない絶対悪である。核兵器廃絶宣言都市として陳情に賛成すべきである。 神社

反対

核兵器禁止条約に参加することで、自己満足するかもしれないが、関係国の不信を招き、自国の安全保障を危険にさらすことになる。小林
廃絶のための現実的効果的アプローチが必要。日本が条約に入れば、核保有国との対立となる。話しが前に進まない。賛同できない。二條
国連での条約の採択は高く評価するが、日本の条約参加は核保有国と非核保有国の断絶を深め、核のない世界から遠ざかってしまう。 太田

核兵器禁止条約の調印を求める陳情36038号

賛成

「年金カット」法は高齢者の暮らしを深刻にして、若い働く人の将来の年金も保障されない。マクロ経済スライドは廃止すべき。 平林
公的年金制度は「世代と世代の支え合い」という考え方を基本としている。マクロ経済スライドは年金支給額を実質減らす。最低保障制度を創設すべきだ。 栗林

反対

年金のマクロ経済スライドを廃止せよ。との陳情だが、インフレになって物価が上がっても、年金は据え置かれたのでは、年金者の生活を守れない。マクロ経済スライドの廃止は年金受給者の当たり前の生活を奪うものだ。 堀

安心できる年金制度創設を求める陳情

賛成

南棟の企業債の平準化を目的としたもの。高い金利がつく一時借入金の借入れを回避でき、経費削減となる。 佐藤

反対

新改革プランでは、2020年に黒字化を達成するので、起債を借り換える必要は無い。問題の先送りではなく、根本から病院を変えていく決断をすべきだ。 中牧

病院事業会計補正予算

反対

芸術祭の仕事をした職員への給与等は、一般会計から出費してはならない。大町市職員派遣の定めによって芸術祭実行委員会に派遣したうえで、実行委員会が負担すべき費用であり、このような支出は違法となる。 大和

芸術祭残業代は実行委員会の負担

平成29年12月定例会 提出案件の審議結果と各議員の賛否一覧

◇賛否が分かれた案件

出された議案・陳情等に対する「賛成は○」「反対は●」で表示

議案番号等	案 件	市会クラブ		日本棋院		虹と緑の会		政友クラブ				無		公		無		結 果
		大 厩	中 牧	松 島	平 林	栗 林	大 和	降 旗	佐 藤	岡 野	勝 野	二 條	小 林	堀 堅	神 社	太 田	高 橋	
議案第65号	平成29年度大町市一般会計補正予算(第7号)	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	平成29年度大町市病院事業会計補正予算(第3号)	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議事第9号	核兵器禁止条約の調印を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第36号	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第37号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を国の責任で創設するための意見書の提出について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第38号	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

◇全会一致で可決・承認・同意・採択・不採択された案件

報告第13号	専決処分の報告について 専第22号 平成29年度大町市一般会計補正予算(第5号)	承認
報告第14号	専決処分の報告について 専第23号 平成29年度大町市一般会計補正予算(第6号)	承認
議案第59号	大町市美麻温泉交流施設ぽかぽかランドの指定管理者の指定について	可決
議案第60号	大町市信濃木崎夏期大学の指定管理者の指定について	可決
議案第61号	大町市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第62号	大町市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第63号	大町市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第64号	大町市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第66号	平成29年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第67号	平成29年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第68号	平成29年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第70号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第71号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第72号	大町市特別職の職員の給与に関する条例及び大町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第73号	平成29年度大町市一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第74号	平成29年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第75号	平成29年度大町市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第76号	平成29年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第77号	平成29年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第78号	平成29年度大町市病院事業会計補正予算(第4号)	可決
陳情第34号	道路整備等について	採択
陳情第35号	NHK紅白歌合戦における映画「男はつらいよ」出演者による課題曲及び県内口ケ地の中継を求める陳情	不採択

お知らせします

総務産業委員会

◎越前おおのブランド戦略

◎ carrying-water-project (水ブランド)

福井県大野市(10月25日)

「おおのブランド戦略」も
当市と同じく「市のイメージ
発信」を目的としています。大野市は、更にその先の「市民の所得向上につなげていく」というところまで、目的としています。「信濃大町ブランド戦略」も「知名度」だけでなく「その先に何を求めるのか」を考えていくべきだと感じました。

「Carrying Water Project」は、「水を通して地球の将来や人々の幸せに貢献していくことを目指すプロジェクトです。東ティモールへ水道システムを整備するための寄付や子どもたちが、世界の水について考える「水のがっこう」など世界的視野を持って事業を



生活に密着した「水」

◎280MHz同報無線整備 ◎防災リーダー養成講座

岐阜県瑞浪市(10月27日)

ポケットベルの周波数を利用した「防災ラジオ」を整備し、市内全世帯及び事業所に「無料貸与」しています。機器の単価も「戸別受信機」より安価で、基地局の整備も比較的安価でできるそうです。大町市の戸別受信機の普及数、屋外スピーカーの現状を考えると、「防災ラジオ無償貸与」というのも一つの方法だと感じましたが、まず、今あるシステムを有効活用し、市民の安心・安全のため「戸別受信機」の更なる普及策を考えていく必要があると感じました。



無料貸与の防災ラジオ

しています。「信濃大町水ブランド」を策定していますが、もう一度「水」について考え、「本物」を目指し、戦略の練り直しも含め、検討の必要性を感じました。

詳しくはこちらをご覧ください
<http://www.carrying-water-project.jp/>



議会運営委員会

◎予算特別委員会の運営について

茨城県行方市なめがた(11月13日)

予算特別委員会の設置は、定例会毎に行い副議長が委員長、議会運営委員長が副委員長となり、全議員に対し説明会を行い質疑応答も行っていきます。平成29年度からは、分科会方式から全議員で審査をしています。全議員が全ての予算決算の審査に関わることで分科会の報告は必要がなくなるなどメリットがあるとのことでした。

当市議会では、今回の視察等を参考にし、平成30年度当初予算から全議員を対象とする説明会を実施する予定です。



予算委員会のあり方について研修しました

行政視察の成果を

社会文教委員会

●民間書店の指定管理による
斬新な図書館運営

岡山県高梁市(10月23日)

岡山県高梁市(10月23日)
たかはし
ツタヤで有名なカルチュ
ア・コンビニエンス・クラブ
(CCC)が運営管理する高梁
市図書館。お洒落なスター
バックスコーヒーマ併設され、
若者のみならず高齢者も遅い
時間まで集う場所。中高生も
勉強できる静かな空間も。C
CCの指定管理が始まって以
降、確実に来館者は増えてい
ます。



大きな吹き抜けで開放的な図書館

●公立大学を中心とした子育て
支援

岡山県新見市(10月24日)

岡山県新見市(10月24日)
幼児教育を学ぶ学生が関わ
ることで人材育成と子育て支
援が両立。子育て中のお母さ
ん達の交流の場として、小さ
な子ども同士が触れ合う成長
の場として、そして学生の生
きた実習の場として理想的な
取り組みです。教育と子育て
支援の両立を目指すモデルと
して非常に参考になりました。



公立大学内の親子交流ひろば「にこたん」

●地域包括ケアの老舗尾道市
の市立市民病院

広島県尾道市(10月25日)

広島県尾道市(10月25日)
全国に先駆け地域包括ケア
システムの構築に取り組んだ
先進地。「尾道方式」の特徴は
徹底的なケアカンファレンス
による多職種連携。どこま
でも患者・ご家族の希望の実
現に徹する姿勢に、医療本来
のあり方を学びました。



尾道市立市民病院

●議会IT化の推進について
群馬県みどり市(11月14日)

群馬県みどり市(11月14日)
議会活動の質の向上と議会
運営の効率化を図る目的で、
平成27年9月からタブレット
端末を活用したクラウド文書
共有システムの運用を開始し
ました。議会のIT化推進に
ついては、各会派から1名ず
つ選出した議員で構成するIT
推進部会を立ち上げて取り
組んでいます。当市議会とし
ても、みどり市の取り組みを
参考に、議会のIT化検討委
員会を立ち上げることにしま
した。



議会運営の改善に向けて先進事例を研修しました

次ページは、どしどし大町



市民と議会の意見交換会を開催

11月21日・22日の2日間の日程で市民と議会の意見交換会を開きました。
いただきました意見や要望は議会や市政に反映できるよう努力します。

■常盤地区

Q 国際芸術祭は今後開催されるのか。ボランティアとして参加したが、作家あつての芸術祭だと思つので、また開催すれば協力したい。

A 12月定例会全員協議会で詳細な評価・分析結果が報告される予定となっている。様々な議論がされると思うが、議会としても芸術祭の検証を行っていく。

Q 芸術祭期間中に壺松寺で演奏した影武者さんも芸術家として扱ってほしい。

A ご意見として承り、実行委員会に伝える。

■八坂地区

Q 近年、八坂地区において、イノシシ、鹿、猿害が多発している。防止柵の設置などを行っているが、効果が表れていない。抜本的な対策として、猟友会による駆除費用助成の増額やわな猟免許取得助成など検討してはどうか。

A 農林水産課も捕獲策を検討しているが、抜本的な対策がない状況である。制度整備について、行政側に伝える。

Q 太陽光発電について、景観規制ガイドラインを制定するなど、規制強化する考えはあるのか。

A 現在、市開発指導要綱により制限している。大規模な開発行為については、県の条例による環境アセスメントも必要となる。小規模なものについて、市で規制す

どうする大町！

～ひとづくり・まちづくり～

る条例はない。今後も行政側に要望していく。

Q 大町病院の経営について、毎年4〜5億円を公費で補ってんしている。抜本的な経営改善が必要ではないか。

A 平成29年3月に新改革プランが策定された。市議会においても情報を共有しながら、計画の進捗状況等検証していく。

大町地区

Q きらり輝く協働のまちづくり助成金について、成果が見えない。助成金が終わると活動も途切れてしまう団体もある。結局何も残らない。地域にあるいいものを、市と市民が共同で掘り起こしていくべきではないか。

A 議会の事務事業評価でもこの事業について、どのような成果を期待しているのか「目標が明確でない」と評価した。行政も助成団体の事業効果をしっかり検証すべきと考える。

Q 市民活動を連携させるシス

テムを築くことが大事。市民も本気にならなくてはいけない。団体同士が情報を交換して結びつき、地域経済にも結びつける組織・システムが必要ではないか。

A 市内には素晴らしい活動をしている団体がある。そのような活動が、少しずつでも市民に浸透していくことを望む。

社地区

Q 陳情してもなかなか実現しないが、議会は関わっているのか。

A 道路・水路の陳情は本来行政が対応するものであり、行政では優先順位をつけて取り組んでいく。議会は陳情内容の解決に向けて、取り組みをチェックしている。

Q 陳情に対する市の対応について、進捗状況や、すぐに対応できない理由について地元へ報告してほしい。

A 自治会への報告は重要だ。ふれあいバスの時刻表や運行路線は、地元同意を経て決めてほしい。

A 市議会高速交通網対策特別委員でも検証している。当委員会から担当課に、市民に役立つ、利用しやすいものとなるよう訴えてきた。議会としても引き続き検証していく。

平地区

Q 大町には、地域の魅力がたかくさんある。各地のお祭りやイベントなど情報発信力が不足している。積極的に情報発信をしてほしい。

A 地域の情報を集約する仕組みの構築や情報発信の一元化、SNSなどを活用したタイムリーな情報発信をするために、抜本的な見直しを図るよう行政側に強く伝える。

Q 芸術祭の感想など話し合える場がほしかった。

A まちづくり交流課及び国際芸術祭実行委員会に伝える。

Q 議会だよりが167号から全面的にリニューアルされた。掲載されている議員の写真が大き

ぎると感じた。紙面の使い方を工夫してはどうか。

A 議会だより編集委員会で検討する。

Q おたんじよ桜は、子どもの健やかな成長を祝うためにも継続すべきである。議員にも植樹作業など積極的に参加してほしい。

A おたんじよ桜事業は、議員発議で条例制定されたものであり、積極的に参加するよう努める。

美麻地区

Q 市民農園に住所が置けないのはなぜか。

A 市民農園は休憩施設として位置付けられており、居住などを目的とした施設ではないため他の宿泊施設と同様に住所を置くことはできない。行政では、その規制を緩和できないか県と協議しているとの事である。

Q 県との協議の進捗状況は把握しているのか。

A 把握していない。

みんなのひろば

12月定例会一般質問を傍聴した大町西小学校6年生の皆さんからいただいた感想の一部です。(原稿から一部抜粋して引用)



初めて市議会を見たけど、こんなにすばくみなさんが大町について考えてくれていたとは思いませんでした。見学させていただきありがとうございました。

時間ぴったりで始まって、ぴったりで終わったのがすばいと思いました。

みなさんがすばく真剣にとりくんでいる、見ているのもすばくドキドキしました。

—どんなふうには会議をしているのか、大町をどのように住みよい町にするのかを見学できていい経験になりました。このことを活かして自分も大町のことを大切にしようと思いました。

大町市をよくするために、大町市民の安全を考えながら話し合いをしています。すばいと思いました。

—市議会があるから今の暮らしが保たれていると思いました。これからもがんばってください。

見学をして、大町をもっと良くするために意見を出し合い話し合っている真剣な姿がとてもすばいなと思った。

—議会は年4回もあるのに、きちんと質問する内容を調べていてすばいと思いまけ。

—議会のみなさんが大町の人たちのためにいろいろ話し合っていて大変なんだな～と思いました。

—世の中のことをあまり知らなかったけど、今どんなことが起きているのか知れてよかったです。

本会議の生中継

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大田市議会 議会中継

あごがき、
小学生からこの歳まで、新聞や、議会だよりを作るのが全くの初めてでした。どうしたら、議会のことを市民の皆さんにうまく伝えられるか。日々勉強しながら、より一層市民と議会が近づけるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。
(佐藤)

次回 3月定例会 は 2月20日 開会予定です



傍聴席は60席

傍聴をご希望の方は議会棟2階事務局までお越しください

傍聴しませんか
皆様のお越しを
お待ちしております

